

## カーボンニュートラル×スマートキャンパス 5.0 宣言

### 広島大学における太陽光発電事業取り組み

#### 事業内容

広島大学では Co2 の削減及び再生可能エネルギーの導入を目的とした、キャンパスで使うエネルギーのカーボンニュートラル×スマートキャンパス 5.0 宣言を行いました。太陽光発電施設の設置が可能な建物屋上、駐車場等への設置を行っています（現在約 70 棟へ設置）

船型試験水槽棟にも設置されており、自家消費及び大学内へ電力供給を担うものとなっています。

#### 1. カーボンニュートラルの実現に向けた基本方針



#### 2 アクションプランの基本方針

- 対象エリア：東広島キャンパス
- 対象CO<sub>2</sub>範囲：電気、ガス、重油由来のCO<sub>2</sub>排出
- カーボンニュートラル推進目標：

2030年のカーボンニュートラルの実現に向けて、**2027年度までに東広島キャンパスの2013年度のCO<sub>2</sub>排出量(32,938 t-CO<sub>2</sub>)の70%削減(実質CO<sub>2</sub>排出量約9,881 t-CO<sub>2</sub>)を実現することを目標とする。**

\* CO<sub>2</sub>排出量削減のため、消費電力については、2027年度に東広島キャンパスの消費電力量の再生可能エネルギー比率50%の達成を目指す。

\* 国内外を問わず社会全体の中で研究活動や人材育成がどの程度のCO<sub>2</sub>排出量削減に貢献したかの見える化、定量化にも取り組む。

#### ○アクションプラン：

キャンパス内の再生可能エネルギー設備の整備や省エネルギー対策などのエネルギーマネジメントに留まらず、新エネルギーの開発や生態系へのCO<sub>2</sub>同化を進める技術開発、カーボンリサイクルなどの社会実装に向けた実証研究や、人材育成の取組を盛り込む。



広島大学東広島キャンパス

※広島大学広報記事 カーボンニュートラルの実現に向けてから抜粋